今年を飛躍の年に

新たな事業分野拡大
無形資産の重要性感じる

田中　宏和

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝きのある新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に内需拡大が継続するとともに、企業収益も輸出関連企業を中心に引き続き好調を維持しており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で中東・東欧の紛争長期化や米国による追加関税措置の影響、中国経済の回復鈍化等により世界経済は下振れリスクが懸念され、消費者物価も原材料費や人件費の高騰により上昇傾向が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。また、ネット環境の進展に伴いセキュリティ対策の重要性も改めて考えさせられる1年でございました。

当業界におきましても企業のコスト削減やペーパーレス化に伴う法人需要の縮小や低価格化が進んでおりますが、一方で個人需要にお きましてはライフスタイルや価値観の多様化に伴い、個人の趣味・嗜好の拘りを追及した製品を求める傾向が強くなっており、事務用品の範疇を超えた新たな事業分野への拡大が続いております。

このような状況のもと、お陰様で弊社は1938年（昭和13年）創業から本年で88年を迎えます。企業のデジタル化に伴い弊社が主力としてきたオフィスのファイリング需要は縮小傾向にありますが、個人需要では推し活に見られるグッズ収集が増加しており、それに伴う収納需要は拡大傾向にあります。ペーパーファイリングで培ったノウハウを活かした推し活グッズファイリングのミファシリーズは発売以来ご好評をいただき、シリーズ第6弾となるアイテムも今春発売を計画し、推し活グッズ収納という新たなシーンカテゴリーを創って参ります。

今後もこのデジタル化、価値観の多様化は更に進むと思われますが、このような変化に対応していくには機械・設備等の有形資産もさることながら、企業が持つヒト・ノウハウ等の無形資産の重要性も感じております。弊社は『あなた（お客様・未来・共に働く全てのヒト）を想ってつくります』の価値観のもと発想力と想像力で新しい価値を創りだし、その価値を世の中に広め、皆様方と共に栄えることを使命に本年も全社一丸となり取り組んで参る所存でございます。変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2026年の新しい年が皆様方にとりまして佳き年になりますよう心から祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。【株式会社LIHIT LAB.社長】

消費者の声に耳を
変化に合わせた商品提供

西川　智也

新年明けましておめでとうございます。謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が開催され、盛況のうちに幕を閉じましたことは、大変喜ばしい出来事でありました。弊社も大阪府主催のヘルスケアパビリオン「リボーン・チャレンジ」ブースに出展し、来場者の皆様とのコミュニケーションを通じて未来への提案や発信を行うことができ、大きな学びと方向性を得る貴重な機会となりました。

一方で昨年は、女性として初の総理大臣となった高市早苗氏の就任と、「早苗ミクス」による外交により、市場も新たな局面を迎えております。依然として注視すべき課題が多く、引き続き慎重な対応が求められる状況です。

弊社はこれまで、ファイル・アルバムをはじめとした商品を通じ、お客様の暮らしと仕事を支える製品を提供してまいりました。近年はテレワークの普及により変化しています。こうした変化に合わせた商品をお届けすることが、今後ますます重要になると感じております。

弊社ではテレワーク用として、ドキュメントスタンド・ウッディラック・ファイルボックス・シスボックス・タブレットスタンド・ミーティングボード・メッセージスタンド・書見台・モニタースタンド・カッティングマット・ドキュメントファイル・フォトアルバムなどを展開しています。

また、店舗向け商材として、メニューファイル・マグラックといった商品もご支持いただいております。

なかでも「マグラック」は、ホワイトボードとして書き込みができるマグネット収納ラックで、使いやすさとデザイン性を兼ね備えた弊社らしい製品です。半透明の仕切りにより書類の仕分けがしやすく、クリアファイルや雑誌などもすっきりと収納できます。

これからも消費者の声に耳を傾け、デザインと使い心地を形にしてまいります。

最後になりましたが、皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますよう、心より申し上げます。【セキセイ株式会社社長】

「らしさづくり」テーマ
市場の活性化へ挑戦

山本　忠利

2026年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

旧年中は格別のお引立てとご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は「大阪・関西万博」によって、世界が未来社会の姿を共有する希望に満ちた一年となりました。また、国内では高市早苗氏が憲政史上初の女性総理大臣に就任し、国の新たな方向性に注目が集まりました。一方で、依然として物価上昇が国民生活に影響を与えるなど、社会は変化と課題が複雑に交錯しています。

本年2026年は、そうした揺らぎの中にも希望の光が差す一年になると期待されます。国際的には主要国の政策協調が進み、米国の政治動向も次第に安定へ向かうとの見通しが示されています。また、ミラノ／コルティナ・ダンペッツォでの冬季オリンピック、WBC、FIFAワールドカップと、世界が心をひとつにするスポーツイベントが目白押しで、文化や経済にも多様な交流の機会が広がるでしょう。技術面ではAIや脱炭素技術の社会実装がさらに加速し、企業活動や生活により良い変化が期待されます。

文具・印章業界では、DXの進展やペーパーレス化が加速する一方で、紙と文具が持つ情緒的な魅力に再び注目が集まり、創作に参加するプロセスそのものを価値と捉える「参加型クリエイティブ体験」への関心が高まっています。また、金融犯罪の増加を背景に、紙文書が持つ確かな信頼性が改めて評価される動きも広がっています。

こうした時代の変化の中で、私たちは社会やお客様の価値観の移り変わりに寄り添いながら、市場の活性化に向けて挑戦を続けてまいります。近年に掲げたテーマ「らしさづくり」は、これからの企業活動において、より一層重要な理念となっていくことでしょう。

急速に変化する社会では、一企業だけで創出できる価値には限りがあります。だからこそ、取引先の皆様、地域社会、そして一人ひとりとの協働を通じてこそ、新たな価値が生まれると私たちは考えています。

サンビーはこれからも、消費者の皆様、文具・印章業界の皆様、そして私たちを取り巻くすべてのパートナーの声を大切にしながら、共に価値を創り、未来を描く企業として挑戦を続けてまいります。

最後に、2026年が皆様にとって希望と飛躍の一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。【サンビー株式会社社長】

「アートクレヨン画展」好評博す

○…ぺんてる株式会社（石垣淳一社長、東京都）の「アートクレヨン」で大人のクレヨンで描く全ての人のための展覧会「100点のアートクレヨン画展」が12月3～7日の5日間、1日約1万人が往来する東京の「日比谷OKUROJI」で開催、好評を博した。

「100点のアートクレヨン画展」には2300点以上の作品応募があり、「アートを日常に」変えることを目指し、応募作品の中から100点を厳選・展示した。

会場の日比谷OKUROJI

日本製紙株式会社
関西営業支社
支社長　松本 勝次
〒530-0055 大阪市北区野崎町５－９
読売大阪ビル
TEL 06(6363)7181　FAX 06(6363)7155

LINTEC リンテック株式会社
執行役員　大阪支店長　木村　慶太
大阪支店　〒550-0013 大阪市西区新町１－４－２４
大阪四ツ橋新町ビル５階
TEL 06(6539)3888　FAX 06(6539)3850

GPI ゼネラル・パッケージング・インダストリー レンゴー株式会社
取締役 兼 副社長執行役員　井上　貞登士
本　社　〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7
中之島セントラルタワー
TEL 06(6223)2371㈹　FAX 06(4706)9909

王子製紙株式会社
関西営業支社
支社長　渡 辺 善 雄
〒660-8577 兵庫県尼崎市常光寺４－３－１
TEL 06(4950)7525㈹　FAX 06(4950)8029